

新たな担い手による経営の確立と地域活性化

～新たな仲間と地域を守ろう～

活動年次：令和3～6年

空知農業改良普及センター 空知南東部支所

1 課題設定の背景 *****

対象：重点地区 14戸1法人

栗山町日出地区

- ・平均経営面積：4.9ha/戸
- ・経営主平均年齢：60歳
- ・施設野菜が中心で、水稻・畑作との複合経営が主体

[地域の問題]

新規参入者(6戸)

施設野菜の収量が不安定

新規法人(2戸1法人)

労働力不足・条件不利地多い
構成員の技術習得が必要

有害鳥獣

シカ・アライグマ・カラス・ウサギによる被害が大きい
高齢化・労働力不足で集落柵の管理が難しい

2 活動の経過 *****

<新規参入者の定着> ～栽培管理技術の確立・安定化～



- ・適切な薬剤使用を!
- ・病害虫にかかりにくい環境づくりが大事です!

病害虫適正防除



- ・土壌消毒後は土壌診断で施肥量を決めましょう!
- ・後作緑肥にライ麦はどうでしょう?

土壌消毒後の土づくり



- ・栄養診断の結果追肥量を増やしましょう!
- ・摘果して草勢を維持しませんか?

適正な草勢管理

<新規法人の営農体制の構築> ～土地利用型作物の安定化～

- ・新しいイネ科除草剤をいませんか?
- ・透排水対策にカットドレーンを施工しませんか?



新規小麦畑の雑草対策

- ・乾田直播導入で労働軽減できます!
- ・直播は苗立確保、雑草対策、水管理が肝です!



水稻乾田直播の導入

- ・肥料・土壌・雑草・園芸・病害虫の基礎講習会をやりましょう!



構成員への栽培技術習得

<有害鳥獣対策体制の確立>～効率的な集落柵管理体制の構築～



- ・皆で集落柵点検やりましょう!
- ・電牧の効果的な設置方法の現地研修会も行いましょう!

集落柵点検・現地研修会



- ・大豆のウサギ対策に小動物専用電牧を試験設置しませんか?

資材試験



- ・集落柵点検前と後で動物の目撃や被害について皆で振り返りましょう!

ワークショップ

3 活動の成果 *****

<新規参入者の定着> (栽培管理技術を改善して安定生産に)

| 農業者名(就農年度) | A (H26) | B (H29) | C (H31) | D (R3) | P (H27) | Q (R4) |
|-------------------------|------------------------|----------------|---------------|---------------------|-------------------------|----------------------|
| 主な作付品目 | きゅうり アスパラガス にんにく | メロン かぼちゃ | トマト アスパラガス | トマト アスパラガス 小麦 | トマト ブロッコリー アスパラガス | トマト ながねぎ さつまいも |
| 設定した 今年度改善目標 (品目) | 害虫防除 (きゅうり) | 施肥対応 (メロン) | 草勢管理 (トマト) | 草勢管理 (トマト) | 病害対策 (トマト) | 病害対策 (ながねぎ) |
| 具体的な目標 | ダニ類の 適期防除 | 土壌消毒後の 土づくり | 適切な 肥培管理 | 適期の摘果 | 灰色かび病 の低減 | 赤さび病 べと病の低減 |
| 実施状況 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

今年度改善目標：新規参入者と設定した改善目標

実施状況 ○：実施、△：一部実施 ×：未実施

病虫害適正防除
土壌消毒後の土づくり
適正な草勢管理

改善目標
↓
全戸で実施



トマトの葉柄硝酸濃度を追肥の参考にしたよ！（Cさん）



消毒後の草勢が心配だったが、順調で良かった。メロンを休閑しなくても緑肥が導入できるのは助かる！（Bさん）

<新規法人の営農体制の構築> (法人全体での営農技術向上へ)



新規小麦畑
雑草対策

イネ科除草剤
△作業競合で実施できず
○収穫後に耕起処理
非選択性除草剤散布

カットドレーン
△大雨で断念
○溝切りの実施



水稲乾田直播
導入

乾田直播
△苗立本数少なく低収
○水稲全面積25haのうち
90aで導入

春の忙しい時期に直播に取り組めて良かった！来年も取り組みます！（A法人 Iさん）



構成員
栽培技術習得

受講前：聞いたことはあるが、実はよくわからない。
受講後：なんとなくわかった。自分でも少し説明できる。

目的や意味を理解して、作業するようになりました！（A法人 Jさん）



<有害鳥獣対策体制の確立> (地域全体で取り組む体制が作られた)



フェンスの破損程度をA～Gで整理

- ・経年劣化
- ・人為的に破壊
- ・最下段ワイヤー位置高い

↓
動物侵入
↓
皆で補修



農業者・メーカー・普及センターで設置



ウサギ侵入抑制

シカ目撃箇所は減少した

↓
点検回数
補修体制に課題も



令和4年：15箇所

令和6年：9箇所

集落柵点検・現地研修会

資材試験

ワークショップ

4 今後の活動 *****

新規参入者の定着：栽培管理技術の安定化に向け支援継続

新規法人の営農体制の構築：畑作・水稲の支援継続、構成員の技術向上に向け講習会継続

有害鳥獣対策体制の確立：日出地区における集落柵管理体制のあり方について検討